

女川原子力発電所 定期検査・主要機器点検情報

No. 2

(平成17年11月分)

号機	3号機	定期検査	第3回定期検査
件名	原子炉格納容器真空破壊弁機能検査要領書の記載誤りについて		
月日	平成17年11月1日(火)	発生	発見 <b>確認</b>

場所	原子炉建屋	設備	原子炉格納容器真空破壊弁	設備区分	安全上重要な系統
----	-------	----	--------------	------	----------

**設備概要**  
 原子炉格納容器真空破壊弁はドライウェルと圧力抑制室を結ぶベント管に取り付けられています。当該弁は、格納容器内で配管破断による冷却材喪失事故が発生し、ドライウェル圧力が圧力抑制室の圧力よりも下がった場合に、圧力差により自動的に作動することで、ドライウェルの外圧による変形および圧力抑制室のプール水のドライウェルへの逆流を防止します。

**所見**

- 原子炉格納容器真空破壊弁の機能が健全であることを確認する検査を実施する際、当該検査の検査要領書に記載している作動用空気の圧力に関する記載に誤りがあることを確認しました。
- 当該検査では作動用空気の圧力により弁を全開させますが、その際の圧力が「0.86MPa以下」と記載されておりましたが、「0.78MPa以下」の誤りであることが判明したものです(11月1日)。
- 検査実施時の作動用空気の試験圧力は0.70~0.73MPaであるため、検査結果に影響はありません。なお、今回の検査においては記載を訂正した検査要領書で検査を行い、問題のないことを確認しております。

